

教 区 報

山 口

No.206

2017年
(平成29年)

7月

発 行・「御同朋の社会をめざす運動」山口教区委員会

編 集・広 報 教 材 部



飛雲閣(西本願寺花灯明)



伝灯奉告法要 伝灯のつどいにてご挨拶される専如ご門主

伝灯奉告法要御満座

このたび、第二十五代専如ご門主が、浄土真宗のみ教え(法灯)を継承されたことを阿弥陀如来と親鸞聖人の御前に奉告され、そのみ教えが広く伝わることを願い始まった伝灯奉告法要が、五月三十一日のご満座にて、円成となりました。

教区内の皆さまには、第一期よりご参拝のご協力をいただきましたこと、厚く御礼申しあげます。

本法要は昨年十月一日から五月三十一日まで十期八十日間一日一座つとめられ、山口教区として八十一団体三、九六二人のご参拝をいただきました。世代を超え、共にみ教えを味あわせていただき、尊いご勝縁に恵まれました。

五月三十一日ご満座の法要後には、専如ご門主より「伝灯奉告法要御満座の消息」(P3掲載)をいただき、石上智康総長が「ご消息を拝して」と題し、ご消息やご親教「念仏者の生き方」を引用されながら「宗門に集うすべての人々と共に、心を一つにして力を尽くして参りたいと存じます」と決意を表明されました。

今後は、専如ご門主がお示しになられた、ご親教「念仏者の生き方」を指針として、ご消息のお心を体し、様々な活動に取り組み、微力ながら多くの方にご縁を持つていただけるように努めて参りたいと存じます。

山口教区教務所長 本願寺山口別院輪番

木下 祐祥

伝灯奉告法要御満座の消息

昨年の十月一日よりお勤めしてまいりました伝灯奉告法要は、本日ご満座をお迎えいたしました。十期八十日間にわたるご法要を厳肅盛大にお勤めすることができましたことは、仏祖の教導と親鸞聖人のご遺徳、また代々法灯を伝えてこられた歴代宗主のご教化によることは申すまでもなく、日本全国のみならず、全世界に広がる有縁の方々の報恩謝徳のご懇念のためものと、まことに有り難く思います。

昨年の熊本地震から一年を経過し、甚大な被害をもたらした東日本大震災から六年が過ぎました。改めてお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。どれほど時間が経過しても心の傷は癒されることなく、深い痛みを感じてお過ごしの方も多くおられるでしょう。なかでも、原子力発電所の事故による放射性物質の拡散によって、今なお故郷に帰ることができず、不自由な生活を余儀なくされている方々が多くおられます。思うままに電力を消費する便利で豊かな生活を追求するあまり、一部の方々に過酷な現実を強いるという現代社会の矛盾の一つが、露わになったということができません。自分さえ良ければ他はどうなってもよいという私たちの心にひそむ自己中心性は、時として表に現れてきます。このような凡愚の身の私たちではありませんが、ご本願に出遇い、阿弥陀如来のお慈悲に摂め取られて決して捨てられないことのない身ともなっています。そして、その大きな力に包まれているという安心感は、日々の生活を支え、社会のための活動を可能にする原動力となるでしょう。

凡夫の身であることを忘れた傲慢な思いが誤っているのは当然ですが、凡夫だから何もできないという無気力な姿勢も、親鸞聖人のみ教えとは異なるものです。即如前門主の『親鸞聖人七百五十回大遠忌法要御満座を機縁として「新たな始まり」を期する消息』には、

凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と、精一杯努力させていただきましょう。

と記されています。このように教示された生き方が念仏者にふさわしい歩みであり、親鸞聖人のお心になつたものであるといただきたいと思えます。このことは、ご法要初日に「念仏者の生き方」として詳しく述べさせていただきました。

今、宗門が十年間にわたる「宗門総合振興計画」の取り組みを進めておりますなか、来る二〇二三(平成三十五)年には宗祖ご誕生八百五十年、そして、その翌年には立教開宗八百年という記念すべき年をお迎えいたします。

改めて申すまでもなく、その慶讃のご法要に向けたこれからの生活においても、私たち一人ひとりが真実信心をいただき、お慈悲の有り難さ尊さを人々に正しくわかりやすくお伝えすることが基本です。そして同時に、仏さまのような執われのない完全に清らかな行いへできなくとも、それぞれの場で念仏者の生き方を目指し、精一杯努めさせていただくことが大切です。み教えに生かされ、み教えをひろめ、さらに自他ともに心安らぐ社会を実現するため、これからも共々に精進させていただきましょう。

平成二十九年 五月三十一日
二〇一七年

龍谷門主 釋 專 如



伝灯奉告法要 (西本願寺白州にて)



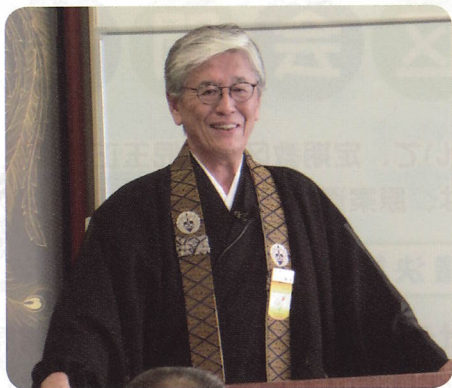
伝灯奉告法要団体参拝の様子（教区内各団体から提供いただいた写真の一部）

教区実践運動研修会

「念仏者の生き方」に学ぶ

人権社会部部員 黒瀬 正見

この度、浄土真宗本願寺派総合研究所所長 丘山願海氏より、「念仏者の生き方」に学ぶ」という講題で講演を受けた。「念仏者の生き方」とは、第二十五代専如門主伝灯奉告法要ご親教である。



丘山願海氏

丘山氏は「念仏者の生き方」というテーマについて、「信心の行者としての生き方」・「信心・念仏者の社会性」という両面から見る

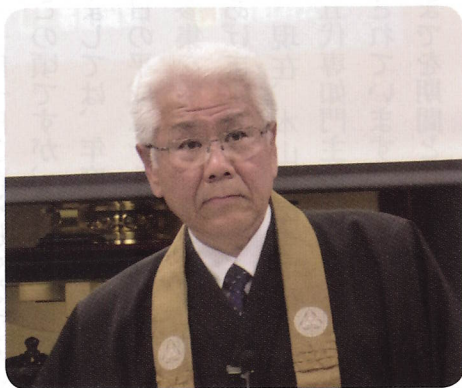
べきであると提言した。つまり、如来の願心を拝受し、「生かされている」という自己のあり方に気づかされた念仏者はいかにして生きるべきか、その生き方は社会へいかなる影響を与えるのか。という見方である。

その中で丘山氏は、宗祖の「非僧非俗」という生き方に着目した。『末灯鈔』において宗祖が「浄土真宗は大乗のなかの至極なり」と顯かにされたそのお心は「非僧非俗」の生き方にこそあらわれている。「非僧非俗の生き方」とは、我々在家仏教のあり方を示している。それはただ単に出家も修行もせず、に怠惰な生活を送るのでなく、世俗の人々とともに生きながら、自らの価値観は世俗のものでなく、仏法の価値観で生きていくことにある。その生き方こそが「少しず

つでも煩惱を克服する生き方」であり、その具体的な実践が「少欲知足」・「和顔愛語」であるとご門主様はご親教にてお示しくださっている。

他者の喜びを自らの喜びとし、他者の苦しみを自らの苦しみとするなど、少しでも仏さまのお心になやう生き方を目指し、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現へと確かな歩みを進めていくことが、「念仏者の生き方」であると学んだ。

後半はそうした「念仏者の生き方」の具体的な例として、長岡裕之氏の「非戦・平和への取り組み」について講演を受けた。長岡氏は



長岡裕之氏

『天経』における「兵戈無用」の教えや、宗祖の「世の中安穩なれ、仏法ひろまれ」のお言葉等から、念仏者の非戦・平和への姿勢を訴えた。

両者とも社会に生きる念仏者として、世俗にありながら仏法の価値観でいかに生きるべきか、その具体的な実践を示された。宗門の今後にとって大変貴重な提言であった。



教区実践運動各部会による活動報告等

定期教区会開催

去る3月22日(水)に、別院会議室において、定期教区会(児玉正悟議長)が開催され、提出された財務議決議案・法規議案は、原案通り可決された。議案は次の通り。

財務議決議案

2017(平成29)年度山口教区一般会計予算、特別会計予算(寺院災害見舞金会計・伝道車購入積立金会計・平衡資金会計・子ども若者ご縁づくり推進費会計)

2016(平成28)年度山口教区一般会計予算補正、特別会計予算補正(寺院災害見舞金会計・退職積立金会計・伝道車購入積立金会計・平衡資金会計)

法規議案

諸区令の廃止に関する区令(山口教区特別賦課金規程・本願寺山口別院設立30周年記念事業推進委員会規則)、山口教区災害対策規則の一部を変更する区令

2016(平成28)年度定期教区会 執務方針演説

教務所長 木下 祐祥

一日一日と春らしくなっています。この頃ですが、議員の皆様におかれましては、年度末のご多忙な中、本日の平成二十八年定期教区会にご参集を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

現在、本山本願寺では、「第二十五代専如門主伝灯奉告法要」が修行されています。今年、五月三十一日までを期間として、昨年十月一日より一期八日間十期八十日間おつとめになります。既に、本日まで五期四十日が終了しています。団体参拝状況を見ますと、昨年の四期までの三十二日間では、国内外合わせ五〇、〇六七名のご参拝をいただいています。山口教区におきましても、一、九三二名のご参拝をいただいています。どうか、議員の皆様におかれましては、既にご参拝をされた方もおられましょうが、今後の四十日間の法要にもご縁をいただければ有り難いこととございます。ご門主様の法灯継承の大事な法要に、自らまた元

気でご勝縁をいただくということ、は、なかなか簡単なよう滅多に無いこととあります。つきましては、

空席がある法要日がまだまだありますので、是非、各寺院単位でのご参拝はもちろんです、個人やご家族でのご参拝をお願いいたします。

さて、山口教区に思いを寄せてまいりますと、昨年度末二〇一六年三月三十一日付での統計で、六百三十一ヶ寺と全国で三番目の教区であり、また僧侶数は、一、九二六名と四番目、門徒戸数にあつては、六九、五七一戸と一番目、護持口数は、四番目と、全国でも上位を位置する、すばらしい教区でありますことは言うまでもありません。

しかしながら、今後こうした現状が持続可能かとなれば、日本の実情に鑑みますと、課題がこれからも一層深刻になってくることは、誰にでも予想出来ることとあります。これからの社会構造に視点を向けますと、これまで、ご法義を喜ばれご聴聞を重ねてこられた方々はもちろん、今までご縁の無い方々と今後の社会を支える子ども若者が、一人でも多くご縁をいただく環境を試行錯誤しながらでも取り組まなければならぬ時ではないかと考えます。

2017(平成 29)年度 山口教区一般会計歳計予算

自 2017(平成 29)年 4 月 1 日 至 2018(平成 30)年 3 月 31 日

歳 入 の 部

[単位：円]

款	項	目	2017年度予算額	説	明
1		教 区 賦 課 金	72,996,000		
	1	普 通 賦 課 金	66,437,000		
		1 本 年 度 賦 課 金	65,260,000	631 カ寺 賦課点数 × 1,600、護持口数約 45,500 口	
		2 過 年 度 賦 課 金	1,177,000	1 カ寺 [2002 (平成 14) ~ 2016 (平成 28) 年度]	
	2	特 別 賦 課 金	6,559,000		
		1 別 院 御 仏 飯 料	4,591,000	本年度仏飯料 (護持口数約 45,500 口 × 100) 過年度仏飯料 (1 カ寺 [2002 (平成 14) ~ 2016 (平成 28) 年度])	
		2 災 害 見 舞 協 力 金	1,968,000	本年度協力金 (631 カ寺 × 3,000) 過年度協力金 (1 カ寺 [2002 (平成 14) ~ 2016 (平成 28) 年度])	
2		交 付 金	25,525,000		
	1	宗 派 交 付 金	24,825,000	教務所長給与資金、教区実践運動推進助成金、各種懇志教区教化助成費並びに教務所事務費、宗門総合振興計画推進懇志教化助成費、教区勸式指導員活動助成金、公聴会開催助成金、地方選挙管理委員会開催助成金、ラジオ伝道実施助成金、組事務補助費、組実践運動推進費、組重点プロジェクト推進助成金、組人権啓発推進僧侶研修会助成金、組連研助成金、寺院振興対策委員会開催助成金 (2 回分)、寺院振興金庫法座助成金、伝灯奉告法要団体参拝出向費助成金	
	2	そ の 他 交 付 金	700,000	教化交付金 (山口教区総代会 10,000 × 30 組 / 山口教区仏教婦人会連盟 20,000 × 20 組)	
3		参 加 費 収 入	5,464,000		
	1	参 加 費 収 入	5,464,000	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要団体参拝参加費、御正忌団体参拝参加費、門徒推進員研修協議会参加費、連研履修者研修会参加費、連区門徒推進員実践運動研修参加費、得度事前講習会、教師教務事前講習会、各種会合懇親会参加費	
4		各 種 願 記 冥 加 金	4,200,000		
	1	各 種 願 記 冥 加 金	4,200,000		
5		雑 収 入	1,205,000		
	1	雑 収 入	1,205,000	伝灯奉告法要団参事務費、預金利息、各団体郵送料・交通費・その他雑収入	
6		特 別 会 計 回 付 金	5,010,000		
	1	(特)伝道車購入積立金会計	5,000,000	(特) 伝道車購入積立金会計、第 1 款 1 項一般会計回付金より	
	2	(特)平衡資金会計	10,000	(特) 山口教区平衡資金会計、第 1 款 1 項一般会計回付金より	
7		前 年 度 繰 越 金	7,500,000		
	1	前 年 度 繰 越 金	7,500,000	2016 (平成 28) 年度繰越金	
歳 入 合 計			121,900,000		

歳 出 の 部

款	項	目	予算額	説	明
1		教 化 推 進 費	36,000,000		
	1	実 践 運 動 推 進 費	20,210,000		
		1 教 区 実 践 運 動 推 進 費	1,400,000	実践運動研修会開催経費、実践運動計画書調製費、別院看板記載内容変更工事費、中央実習参加費助成等	
		2 人 権 社 会 活 動 推 進 費	1,950,000	千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要団体参拝経費、教区同朋運動研修会、男女共同参画推進研修会、山口同宗連を中心とした関連団体関係費等	
		3 寺 院 活 動 支 援 推 進 費	520,000	得度習礼・教師教務事前講習会 (各 2 回)、寺院子弟研修会助成金、勸式指導員活動助成金、勸式研修会等	
		4 広 報 教 材 推 進 費	6,960,000	KRY ラジオ放送料金 (西本願寺の時間)、FM 山口 CM 料金、山口グランドホテルサイバービジョン放映費、教区報発行費 4 回、新聞折り込み広告発行費、HP 管理費等	
		5 門 徒 推 進 員 養 成 活 動 費	3,170,000	連研のための研究会、連研履修者研修会、門徒推進員研修協議会、第 4 連区門徒推進員連絡協議会、第 4 連区門徒推進員実践運動研修会参加費、門徒推進員たより発行費 (年 1 回)、門徒推進員ブロック協議会 (5 ブロック)、連研終了証調製費等	
		6 実 践 運 動 推 進 会 議 費	2,910,000	御同朋の社会をめざす運動教区委員会 (3 回)、常任委員会 (4 回)、人権社会部会 (5 回)、寺院活動支援部会 (5 回)、広報教材部会・打合せ (20 回)、門信徒教化部会 (5 回)、門徒推進員関係会議費、その他会議	

～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

	7	組 織 教 化 費	3,300,000	本願寺御正忌教区団体参拝(15名)、門徒総代会助成金、〈教化団体等助成金(15団体)〉、教区布教団、教区仏教壮年会連盟、教区仏教婦人会連盟、寺族婦人会連盟、教区仏教青年連盟、教区少年連盟、教区保育連盟、矯正教化連盟山口教区支部、山口みのり会、教区スカウトクラブ、ビハーラ山口、教区仏教音楽連盟、教区寺族青年会「若朋会」、教区伝道野球部、山口雅楽会
2		組 実 践 運 動 推 進 費	15,790,000	
	1	組 巡 回 費	300,000	組巡回(移動教務所)実施、25組
	2	組 交 付 金	15,490,000	【宗派より拠出】 組事務補助費、組実践運動推進費、組重点プロジェクト推進助成金、寺院対策金庫法座助成金 【宗派・教区より拠出】 組実践運動人権啓発推進僧侶研修会、組連研開催助成金 【教区より拠出】 組実践運動推進協議会助成金、組寺院振興法座助成金、組同朋運動研修会助成金、組総代研修会助成金、組仏婦研修会助成金、組若婦人研修会助成金、組仏壮研修会助成金、組仏壮連絡協議会助成金、組子ども研修会助成金、組真宗青年のつどい開催助成、組式講習会開催助成金
2		会 議 費	6,877,000	
	1	教 区 会 費	2,630,000	教区会(3回)、常備会(5回)、全国教区会議長会負担金、全国教区会議長会出席補助、第4連区議長・組長・教務所長協議会(教区会議長出席分)、会計監査実施経費、その他関連費
	2	組 長 会 費	2,620,000	組長会(6回)、ブロック代表者会(1回)、第4連区議長・組長・教務所長協議会(組長代表者出席分)
	3	各 種 会 議 費	1,627,000	公聴会、護持口数調整委員会(2回)、常任委員会(5回)、寺院対策委員会(4回)、寺院振興対策委員会(2回)及び常任委員会等
3		宗 会 議 員 選 挙 費	50,000	
	1	宗 会 議 員 選 挙 費	50,000	地方選挙管理委員会、選挙人名簿関係費等
4		教 務 所 費	57,106,000	
	1	人 件 費	41,376,000	
		1 俸 給	23,380,000	別院一般会計「歳入第2款2項教区一般会計より回付金」へ回付〈教務所長、職員7名(支給額×90%)〉
		2 諸 手 当	3,625,000	別院一般会計「歳入第2款2項教区一般会計より回付金」へ回付〈通勤手当、扶養手当、日直手当、年度末手当、特別手当(臨時勤務員)〉
		3 賞 与	8,125,000	別院一般会計「歳入第2款2項教区一般会計より回付金」へ回付4.4ヵ月(教務所長)、6,350,000(職員6名×4.5ヵ月)×90%
		4 福 利 費	6,246,000	別院一般会計「歳入第2款2項教区一般会計より回付金」へ回付労働保険料、社会保険料、中小企業退職金共済掛金、輪番・教務所長業務災害補償保険料、定期健康診断料等
	2	事 務 費	8,920,000	
		1 通 信 費	2,770,000	電話関係費、電話設備改善費、郵便料金、宅急便代、各種手数料
		2 出 張 費	2,100,000	教区外出出張経費、伝灯奉告法要団参出張経費(17回)
		3 事 務 諸 費	4,050,000	複合機リース代(5年契約)、輪転機リース代(5年契約)、会計ソフト保守料、コピー代、パソコンサービリース料、ネットワーク・セキュリティ構築、パソコンソフトウェア更新料、団参関連事務費、予算・決算書類印刷費、事務用品購入費等
	3	諸 費	6,810,000	
		1 慶 弔 費	600,000	香、弔慰状、法要慶祝扱い等
		2 渉 外 費	200,000	
		3 雑 費	260,000	刊行物購読料、タクシー料金、名刺調製代金、可燃ごみ収集経費一部負担、その他雑費
		4 伝 道 車 関 係 費	5,750,000	任意保険、自動車税、保険料、ガソリン代、ETC代等、購入費(現エスティマ買換え)
5		完 納 奨 励 教 化 費	2,868,000	
	1	完 納 奨 励 教 化 費	2,868,000	組教化費(本年度教区賦課金納付額の4%、7月末日まで納付)
6		回 付 金	15,809,000	
	1	山 口 別 院 一 般 会 計 回 付 金	9,841,000	
		1 別 院 御 仏 飯 料 回 付 金	4,591,000	別院一般会計「歳入第2款1項別院御仏飯料」へ
		2 別 院 運 営 費 回 付 金	5,000,000	別院一般会計「歳入第2款2項教区一般会計より回付金」へ
		3 退 職 積 立 金 回 付 金	250,000	別院一般会計「歳入第2款2項教区一般会計より回付金」へ
	2	特 寺 院 災 害 見 舞 金 会 計	1,968,000	特寺院災害見舞金会計「第1款1項一般会計より回付金」へ
	3	特 伝 道 車 購 入 積 立 金 会 計	1,000,000	特伝道車購入積立金会計「第1款1項一般会計より回付金」へ
	4	特 平 衡 資 金 会 計	2,000,000	特平衡資金会計「第1款1項一般会計より回付金」へ
	5	特 子 ども ・ 若 者 ぞ 縁 づ くり 推 進 費 会 計	1,000,000	特子ども・若者ぞ縁づくり推進会計「第1款2項教区回付金」へ
7		予 備 費	3,190,000	
	1	第 一 予 備 費	2,690,000	
	2	第 二 予 備 費	500,000	
		歳 出 合 計	121,900,000	



講師：鈴木善隆氏

このたび、恒例法要では初めて経文や法要日程が記載された法要冊子を配布し、参拝の皆さまと一緒に日中法要「十二礼作法」、逮夜法要「宗祖讚仰作法（音楽法要）」がお勤めされた。三日間の法要では、日中法要のお勤め中に各参拝組より代表焼香が行われ、厳粛な雰囲気の中賑々しく勤修された。

本願寺山口別院永代経法要（教区全門徒物故者追悼法要）が、八日（木）から十日（土）の三日間つとめられ、約一、二〇〇人が参拝した。本年はご講師の鈴木善隆氏（滋賀教区野洲組明楽寺）にお取次をいただいた。三日間の帳場等は、宇部小野田組、厚狭西組、熊濃組の皆様にご奉仕をいただいた。

本願寺山口別院永代経法要（教区全門徒物故者追悼法要）が、八日（木）から十日（土）の三日間つとめられ、約一、二〇〇人が参拝した。本年はご講師の鈴木善隆氏（滋賀教区野洲組明楽寺）にお取次をいただいた。三日間の帳場等は、宇部小野田組、厚狭西組、熊濃組の皆様にご奉仕をいただいた。



別院配布法要冊子を手にお勤めされる参拝者



代表焼香のようす



参拝のようす

2017(平成29)年 永代経法要各組結衆・列衆出勤者一覧

出勤日	氏 名						
6月8日(木)	河野文雄	松井尚子	黒瀬正見	溪 利恵	西山祐士	高橋隆宣	広兼成道
	西谷慶真	村野晋哉	長尾智章	木村岳秀	済 教正	松井芳之	川越英真
	榛澤 勉	讚井芳正	山本惺史				
6月9日(金)	神保信正	阿邊一教	渡邊宗演	泉 俊照	戸島法城	山名真達	小島道雄
	石津愛子	堀常宗城	長尾智章	青山 研	重枝正見	渥美真爾	井上龍秀
	有馬才雄	三浦弘明	池信秀見	松岡信昭			
6月10日(土)	市川幸佛	伊東慈宣	佐原正文	大洲鉄嗣	有國智光	月林賢昭	坪井竜樹
	原田祥史	岡崎淳真	坪井正信	藤永康成	光壽光夫	布田晃一	香川 文
	寶城俊成	阿川教行	榮 中	坪井隆範	清水智弘	岩崎英樹	加茂善成
	熊谷誓樹						

わが組の 実践運動

今回は大島組の取り組みについて、周防大島町の
覚法寺を訪ね、大洲鉄嗣組長と大海裕孝実践運動委
員にお話を伺いました。

大洲鉄嗣組長

大島組は、五年前に島本組と島末組
が合併したこともあり、新組の情報発
信のため、ホームページと組報の作成
を計画し、平成二十八年より『組報お
おしま』を発行しています。

ホームページや組報発行の目的は、
各寺のご門徒に、同じ宗派のお寺が島
内のどこにあるのか、またどのような
活動をしているのかを認識してもら
い、新たな参拝を始めるきっかけ作り
としています。組内の参りあいを勧め
ることで、ご門徒同士の交流ができ、
それが当たり前となって気軽に聴聞
に誘い合うことを期待しています。

組報に関しては、現在は年一回の発
行で、組内二十ヶ寺を地域で三プロッ
クにわけ、各プロックが持ち回りで編
集を行っており、発行部数は各寺に希
望部数を申告してもらい、三、〇〇〇
部を発行しています。

また、紙媒体である『組報おおしま』
を発行することにより、ホームペー
ジの内容も充実しました。

離郷門徒が多い地域でもあり、ホ
ムページによるグローバルな情報発信
の重要性を認識している一方、ホーム
ページを見ることができない方にも対
応できるように、ホームページと組報、

二本立ての情報発信の継続をしてい
きたいです。

今年度でブロックごとの編集が一巡
することもあり、組報の効果の検証を
行い、新たな広報活動の模索もして
おられました。組報とホームページ以
外の取り組みとして組の標語ポスター作
成をされており、合併から四年が経過
した昨年度には新たに「念仏の声でつ
ながる真宗門徒」というポスターを作
成し活用されていました。

大海裕孝実践運動委員

周防大島町は余宗を含め寺院が多
く、江戸時代に転派して真宗に帰属し
た寺院も多数あり、明治維新の長州大
工など歴史に名を残す寺院も多いこと
から、寺院や僧侶の由緒を調査してい
き、温故知新で新たなお寺の魅力の掘
り起こしを計画しています。掘り起こ
された一例として、明月という僧侶が
おります。

明月(めいげつ)は、願行寺に生ま
れ、十五才で松山の円光寺(大谷派)
に入寺されます。越後の良寛、備中の
寂庵とともに近世の三名筆と讃えられ
る書家であります。明治二十九年、明
月の百回忌にあたり、正岡子規が句会

を開き、翌年「冬さひぬ 蔵沢の竹
明月の書」と讃えた歌を詠んだそう
で、願行寺にはこれらの句碑があります。



正岡子規句碑(願行寺)

また、同組内浄念寺七世住職やその
門徒と親しかったことから、明月が揮
毫した書が残っています。合併により
奇しくも願行寺(旧島本組)と浄念寺
(旧島末組)は同じ大島組となりました
が、当時は交流があったことが判明
しました。

これらの調査をもとに、今後は法要
に際して明月を冠した公募書道展など
の開催を構想しています。

また、今回お話を伺った覚法寺には
明治維新で活躍した大洲鉄然師の資料
が多くあり、その一端を拝見させてい
ただきました。このような各寺に残る
歴史を調査し、ご門徒に発信していく
ことにより、新たなご縁づくりに役立
てていきたいとお二人そろって抱負を
語っておられました。

最後に、伝灯奉告法要の団体参拝に

際して、大島組オリジナルで作成され
た輪袈裟と貸出用の門徒式章を見せて
もらいました。

大洲鉄嗣組長

団体参拝での目印としてみかんをイ
メージさせる色で作成しました。共同
体意識を持つてもらうためということ
もあるが、境内ではご門徒に必ず着用
していただくことで、門徒式章に馴染
みのない方が着用するきっかけになれ
ばとの思いで作りました。

少し前まで、周防大島は高齢化の島
として全国的にも有名であったが、若
者の移住促進などから活気が戻りつつ
ある所もあり、また、組長を始め、組
内寺院の若返りも少しずつ行われてい
るようで、斬新な実践運動の活動もし
やすい環境にあると感じました。



大島組の式章・輪袈裟と『組報おおしま』

2017(平成29)年度 山口教区教務所・本願寺山口別院 職員分掌表

2017(平成29)年6月1日現在

氏名	教 区		実践運動	教化団体	別 院	
	役職	担 当	担 当	担 当	役職	担 当
木下 祐祥	教務所長	山口中央幼稚園理事長	教区委員会委員長		輪番	萩幼稚園理事長
萩嶺 貴恒	賛事	山口中央幼稚園園長		矯正教化連盟	参勤	
久保 史生	賛事	教区会(常備会)組長会 会計(一般・特別) 賦課金告知・収納 本山共済制度 寺院振興対策委員会 護持口数調整委員会 地方選挙管理委員会	教区委員会 常任委員会		参勤	責任役員・総代会 財産管理委員会
阿武 正法	主事	教区会(常備会)組長会 寺院振興対策委員会 寺院対策委員会 護持口数調整委員会 地方選挙管理委員会 伝灯奉告法要団参主任 龍谷大学校友会(窓口) 紫水会	教区委員会 常任委員会 門信徒教化部	門推連絡協議会 門徒総代会 仏教壮年会連盟 ビハラー山口	参勤	法系主任 (帰敬式・結婚式・初参式等)
河名 哲雄	主事			保育連盟	参勤	萩幼稚園園長 萩分院所務・会計
津守 真悠	録事	得度習礼講習会 得度考査 賦課金収納	人権社会部 子ども・若者ご縁づくり推進委員会	仏教婦人会連盟 寺族婦人会連盟 布教団	参勤	会計(一般・特別) 恒例法要・常例法座 宮繕
桂 大智	書記	願記 災害対策委員会	広報教材部	山口みのり会 仏教青年連盟 若朋会	承仕	
石丸 龍典	書記	慶弔 郵便(発送・受信) 寺族青年野球 御正忌団体参拝	寺院活動支援部	仏教音楽連盟 少年連盟 スカウトクラブ	承仕	仏華 放送関係
中山 真優	臨時	叙勲・褒賞 中央仏教学院 郵便(発送・受信)			臨時	法物(会計・発送・管理) 書籍(会計・発送・管理) 仏華

職員退職

このたび、三月三十一日付をも
ちまして、本願寺山口別院並びに
山口教区教務所を退職させていた
だきました。
二〇〇四年四月に奉職させてい
ただいて以来、十三年という期間

清水 智弘

ではございましたが、その間多くの
皆さま方より公私にわたり温かいご
指導を賜りましたこと、誠に有り難
く心より御礼申し上げます。
今後は、皆さまにお育てをいただ
きました経験を活かし、自坊および
布教等でご法義相続に努めてまいり
たいと存じます。
今後ともご指導ご鞭撻の程よろし
くお願いいたします。

学校法人 山口中央幼稚園 新入児71名入園!!
認定こども園萩幼稚園 新入児36名入園!!



山口中央幼稚園入園式



萩幼稚園入園式

このたび、山口教区教務所が設立母体である山口中
央幼稚園と本願寺山口別院が設立母体である認定こど
も園萩幼稚園にて入園式が行われ、両園で百七名の新
入児を迎えた。
入園式当日園内は、新入児の楽しそうな笑い声や保
護者の笑顔で園内は華やかな雰囲気包まれた。
両園では、「まごころの保育」の理念を基に、「いのち」
を大切に育てる子ども、思いやりの心を持つ子ども、感
謝の心を持つ子ども、たくましい心と身体を持つ子ども
も、豊かな心を持つ子ども、と五つの目指す子どもの
姿を設け、日々、阿弥陀様のみ教えの中で「ほとけの
子ども」を大切に教育・保育を実践している。

- 山口中央幼稚園 HP : <http://yamachuyo.net/>
- 萩幼稚園 HP : <http://www.hagiyo.ed.jp/index.html>



内 容

回天記念館・発射基地見学／飯盒炊飯体験／うどん作り他

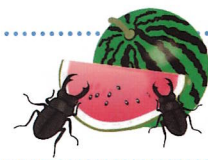


参加対象者

寺族の小学生／中・高校生のサブスタッフ／山口教区寺族青年会「若朋会」スタッフ

参加費

全日程参加：1名 3,000円 * 1日のみ参加：1名 1,000円 *参加費は当日徴収いたします。



申 込

*下記問合せ先へご連絡ください。



そ の 他

当日の詳細は、お申込後お知らせいたします。

問 合 せ

<若朋会事務局> 住所：〒754-0022 山口市小郡花園町3-7 本願寺山口別院内
TEL：083-973-4111 / FAX：083-973-4631



本願寺山口別院テレホン法話 083-973-0111 担当者一覧

期 日	氏 名	期 日	氏 名	期 日	氏 名
8月 1日～10日	中山 教昭	10月 1日～10日	藤本 弘信	12月 1日～10日	吉見 勝道
11日～20日	長尾 智章	11日～20日	松浦 成秀	11日～20日	樹木 正法
21日～31日	中村 隆教	21日～31日	篠原 行信	21日～31日	佐々木大乘
9月 1日～10日	石丸 涼道	11月 1日～10日	岡村 遵賢	1月 1日～10日	輪 番
11日～20日	厚見 崇	11日～20日	杉山 恵雄	11日～20日	木村 智教
21日～30日	青山 研	21日～30日	秋里 大勝	21日～31日	筑波 敬道

※上記の青年布教使による各3分の法話が聞けます。諸事情により、順番が変更される場合があります。

別院・教区行事

29日(火)	26日(土)	25日(金)	5日(土)	3日(木)	2日(水)	9月	29日(火)	26日(土)	25日(金)	5日(土)	31日(月)	30日(日)	29日(土)	28日(金)	27日(木)	26日(水)	24日(月)	23日(日)	21日(金)	18日(火)	11日(火)	10日(月)	8日(土)	7日(金)	6日(木)	5日(水)	7月	
山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会	山口教区少年大会

敬 弔

生前のご遺徳を偲び、謹んで敬弔の意を表します
(平成29年4月～平成29年6月)

熊毛中組 明榮寺 衆徒	走内 顕秀 (70)	4月1日
周南組 松巖寺 前坊守	溪 朝子 (91)	4月12日
宇部北組 光安寺 前坊守	藤永サツキ (91)	4月12日
宇部北組 常光寺 前坊守	杉山 智子 (85)	4月29日
岩国組 佛性寺 住職	富津田義武 (88)	5月1日
宇部小野田組 報恩寺 前坊守	渡邊 満子 (97)	5月3日
柳井組 明光寺 前坊守	大田 絹子 (88)	5月27日
大津東組 法蓮寺 前任職	濃見 彰久 (82)	5月30日

本願寺山口別院仏前結婚式
四月二十七日

新郎 佐々木真章さん
新婦 市川 美郷さん

ご結婚おめでとうございます。

参 拝 者

教区外から次の方々がご参拝下さいました。

3月29日 福岡教区鞍手組願照寺仏教婦人会
5月31日 安芸教区佐伯東組品正寺最勝婦人会
6月2日 安芸教区佐伯東組浄教寺
6月21日 福岡教区西嘉穂組坊守会

別 院 に 寄 附

ご寄附をいただき、御礼申しあげます。
宇部北組光安寺様 香典返しとして
宇部北組常光寺様 香典返しとして

編集後記

今号では伝灯奉告法要の模様を巻頭特集いたしました。教区内においても各々が参拝されたと思えます。法要後に行われた伝灯の集いは大谷宗家を身近に感じることができ、法灯が継承されることの喜びや安心を分かち合えました。各寺院ならびに門徒におかれましては次世代への念仏相続の大切さを感じた事でしょう。法要御満座の消息(P3)にお示し下さっていることとお互いに今一度一読し精進させていたいただきたいものです。

本願寺山口別院・山口教区教務所
〒七五四一〇〇三三 山口県山口市小郡花園町三番七号
TEL(〇八三)九七三二四二二 FAX(〇八三)九七三二四六三